実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

助成年度	令和 7 年度
助成団体	福岡県
事業細目名	国際競技大会開催事業
事業名	IFSC クライミンググランドファイナルズ福岡 2025 開催事業
助成金額	130,398,000 円

国際競技大会開催事業で福岡県が行っている「IFSC クライミンググランドファイナルズ福岡 2025 開催事業」の実施状況について調査を行いました。

本大会は、相互尊重と多様性を大切にする大会を目指し、初めてスポーツクライミングとパラクライミングが融合して行われた大会です。大会競技種目は、リード、ボルダー、パラクライミングが実施され、当日は、リード決勝とパラクライミング予選を視察しました。

■助成の意義

くじ助成を受けたことで、これまで開催されたことがないスポーツクライミングとパラクライミングが融合した大会を開催することができたとのことです。大会開催に伴ってパラクライミングを体験できるブースを設置し、健常者が障がい者スポーツへの理解を深める良い機会にもなったとのことです。

■事業効果を高めるための取り組み

他国際大会と比較して開催情報の公開が遅くなったため、広報（PR）活動の実施期間を十分に確保することができなかったそうです。短期間での広報が必要であり、また限られた予算の中で、まずは県内の小学 6 年生を対象にチラシ配布を行ったり、地元として SNS 発信を行ったりするなど可能な範囲で広報活動を進めました。その中でフジテレビでの中継が決定したことで、大会直前にメディアを通じた効果的な PR を行うことができたとのことです。

■その他

本大会の会場となった「いいづかスポーツ・リゾート ザ・リトリート」は、車椅子テニスの国際大会が長く開催されている施設であるため、周辺地域においては障がい者スポーツへの理解が深く、好意的な土壌がありました。また、既に飯塚市内にインクルーシブ遊具が設置された他、競技用クライミング施設の設立案も計画されているため、上記の条件が合致した飯塚市が開催地として選ばれました。今後は、地方住民のためにも、福岡市や北九州市だけではないその他の都市でも大会を開催していきたいとのことでした。一方、本会場は普段は多くの市民が利用する施設でもあるため、大会期間前後は休館にする必要がありました。事前に貼り紙等による周知を行ったものの、当該期間には多くの利用者から休館理由の問い合わせがあったため、今後は、市民の方々への周知及び理解の強化が課題とのことです。

■所感

今回「IFSC クライミンググランドファイナルズ福岡 2025 開催事業」を調査したことで、初めての健常者とパラ競技が融合された本大会が無事成功し、盛り上がりをみせたのは、県の方々の苦労やご尽力によるものだと実感しました。当日は、健常者アスリート、パラアスリート共に楽しそうに試行錯誤しながらプレーしていること、選手のチャレンジ中の声援、及びチャレンジが終了した後に観客から沸き起こる温かな拍手が印象的でした。本大会を通して、福岡県において、お互いを尊重し合う共生社会の実現に向けた取り組みが発展されていくことを期待しています。

（令和 7 年 10 月 24 日往査）

（写真）IFSC クライミンググランドファイナルズ福岡 2025 開催事業の様子	
	